

3 がん対策について

担当部課：保健福祉部健康安全局地域保健課
(011-204-5117/内線25-508)

◆調査の目的

がん対策に関する様々な施策についての道民ニーズを把握し、がん対策の一層の充実に向け、平成29年度中に見直すこととしている次期「北海道がん対策推進計画」に反映させるため。

◆各設問の主な調査結果

問1 「がん」に対する印象

- ①こわいと思う (62.5%)
- ②どちらかと言えば、こわいと思う (28.8%)
- ③どちらかと言えば、こわいとは思わない (3.6%)

問2 少しでも多くの方ががん検診を受けるための対策 (複数回答)

- ①検診を無料化すること (65.8%)
- ②身近なところで受診できるようにすること (40.8%)
- ③本人の自覚を促すこと (40.7%)

問3 自分または家族ががん患者となった場合の相談先 (複数回答)

- ①通院・入院先の病院 (82.9%)
- ②主治医・かかりつけ医 (60.5%)
- ③インターネット (36.9%)

問4 がんになっても働き続けることができる社会づくりのために必要なこと (複数回答)

- ①勤務する企業・職場の管理者の理解 (73.7%)
- ②治療と就労を両立するための福利厚生の充実 (52.4%)
- ③医療従事者による適切な治療計画の提供 (35.8%)

問5 「緩和ケア」についての認知度

- ①聞いたことはあるが、内容はよく知らない (48.3%)
- ②ある程度知っている (25.5%)
- ③まったく知らない (18.7%)

問6 がん患者となり、余命6か月と宣告された場合の療養生活の場

- ①「自宅」で過ごしたいが家族の負担等があるので「施設や病院」等 (39.4%)
- ②緩和ケアなどを受けられる「病院」 (24.1%)
- ③最期まで「自宅」 (18.3%)

問7 がん対策を進める上で、今後、特に重要な取組 (複数回答)

- ①専門的ながん医療を提供する医療機関の整備 (50.9%)
- ②がん患者や家族への経済や雇用等の支援 (49.7%)
- ③がん検診の受診率向上 (44.7%)